

令和7年3月10日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立鷹番小学校

校長 板木 孝悦

令和6年度 目黒区立鷹番小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和6年7月23日(火) 午後5時00分～午後6時00分

- ・令和5年度の学校評価報告書
- ・令和6年度の学校経営について

(2) 第2回実施日時 令和6年9月28日(土) 午前10時30分～午後12時00分

- ・学校参観
- ・令和6年度の教育活動について

(3) 第3回実施日時 令和7年1月20日(月) 午前5時00分～午後6時00分

- ・令和6年度の学校評価について
- ・令和7年度の教育活動について

2 参加者

- ・小柳 好男 (鷹番住区住民会議会長 中央町1丁目)
- ・熊澤 祐子 (鷹番住区住民会議事務局長)
- ・千葉 泰男 (元鷹番小学校校長)
- ・三田 春彦 (青少年委員)
- ・西 則彦 (前PTA会長)

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	四者※による学校評価アンケートの結果分析 ◎(成果)、●(課題)、 ⊙(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見
学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて	◎四者ともに肯定的な評価が80%以上であり、学校全体への評価は概ね良好である。様々な教育活動を工夫して実施するとともに、情報発信にも力を入れ、児童の活動の様子等を周知できたことが要因ととらえられる。 ●低学年、特に、1年生	・40分午前5時間制を生かし、教育活動をさらに工夫し、充実させることで児童の自己肯定感を支える。また、ていねいな児童理解を進め、児童により寄り添う指導や支援を行う。特に1年生では、スタートカリキュラムの改善を行い、多くの目で見守ることのでき	・学校の教育活動を充実させ、その成果を保護者や地域に積極的に情報発信したことは評価できる。今後も継続してほしい。 ・知徳体のすべてを含めて教育活動を進めていくことが必要である。地域の行事や学校公開の様子からも高学年はそのバランスが良

	<p>の児童の自己肯定感を支える必要がある。より児童に寄り添った児童理解、指導を深めていく必要があると考えられる。</p>	<p>る体制づくりにも努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、様々な教育活動の様子を見ていたり学校行事に参加していただいたりする機会を増やすとともに、様々な情報ツールを活用し、教育活動の様子を周知するように努める。 	<p>く成長していると感じる。1年生の自己肯定感を高めるためのスタートカリキュラムを充実させていってほしい。</p>
<p>I 教育目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、時程、教育内容全体について 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が80%以上であり、教育目標への評価は概ね良好である。教育目標を機会あるごとに児童へ周知するとともに、学年経営、学級経営、専科経営の際に絶えず学校教育目標と関連付けたことが要因ととらえられる。また、学校だよりや Home & School で教育目標を具体化した教育活動の様子を発信したことも要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を様々な教育活動と関連させる。また、学校行事等で保護者、地域に、教育目標やその実現のための取組を紹介したり、c4th Home & School を活用して情報発信したりするように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標が全校児童に浸透していることは大変素晴らしい。地域行事での子どもたちの様子からも感じられる。今後も教育目標を具現化した取組を継続していってほしい。
<p>II 心の教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科(道徳)の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が80%以上であり、心の教育への評価は概ね良好である。特別の教科道徳を要として学校全体で道徳教育を展開するとともに、特別活動の充実を図り、異学年交流や自らの生活や学習を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の「やさしく」に関連した教育活動の充実を図る。「タカバントime」や「ぼかばかtime」などの活動を引き続き充実させ、学年の発達に応じ、ねらいを明確にすることで児童自身が「やさしく」を意識しながら生活するこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事で会う子どもたちのあいさつする姿などからも、心の教育が充実していると感じる。今後も様々な教育活動の中で「優しい子ども」の育成に取り組んでほしい。

	<p>タカバントイムの充実が要因ととらえられる。</p>	<p>とができるようにしていく。</p>	
<p>Ⅲ 学習指導等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が80%以上であり、学習指導等への評価は概ね良好である。これは、1単位の授業を充実させるため、鷹番スタンダードとして、「見通し」、「伝え合い」「学習用情報端末の活用」の3つの視点を設定し、日々の授業改善を図ったことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究対象である社会科学を中心に授業改善をより一層進める。また、学習用情報端末の活用を学校として一層推進する上でも、校内組織を活用し、教員研修も進める。 ・40分授業午前5時間制の導入により生み出し時間をさらに有効に活用する。「チャレンジタイム」を工夫改善することで、児童の主体的な学びの実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・40分授業午前5時間制の導入により、学校独自の工夫が現れるようになってきている。PDCAサイクルを生かしながら、現在の取組を反省し、よりよい教育活動ができるように改善して欲しい。 ・学習用情報端末の活用の仕方については、発達段階に応じた効果的な利用を検討して欲しい。
<p>Ⅳ 体育・健康教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上、健康の促進に向けた取組について 	<p>◎高学年の児童を除くと、四者ともにほぼ肯定的な評価が80%以上であり、体育・健康教育への評価は概ね良好である。日常の体育科の授業だけでなく、運動会、パワーアップタイム、ペースランニングなどの体育的行事全般の意義やねらいを明確にし、体を動かす楽しさを味わわせてきたことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童が運動を選択できる形態の「パワーアップタイム」を実施し、児童のそれぞれの目標に合わせた運動に取り組む。 ・日常の体育科学習では、授業の時間だけの伸びをねらうだけでなく、運動の日常化をめざして、楽しいストレッチや運動遊びの紹介を授業にも組み込むこと。さらに、運動と健康との関連も意識した学びの機会をもつことで、高学年の児童の意欲や関心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に苦手意識をもっている子に対しては個別に声掛けをし、成功体験を多くさせるような取組をして欲しい。 ・競争する中で輝くことができる子どももいる。体育の中で、競争する活動も工夫して取り入れることが必要であると考え。

<p>V 特別活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の活性化などについて 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が85%以上であり、特別活動への評価はかなり良好である。各学年の発達課題に応じた特別活動を展開することで、自主的・自発的に活動することの楽しさを味わっていることが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の満足感や充実感につながる特別活動を計画し、内容を工夫して実施する。 ・全学年が関わる特別活動については高学年の過度な負担につながらないよう工夫した計画で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開で見たばかりかタイム(縦て割り班活動)などの様子から、特別活動が充実していることがわかった。今後も継続して行ってほしい。
<p>VI 学校生活全般について</p> <p><生活指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が80%以上であり、学校生活全般への評価は概ね良好である。教職員が、組織的に生活指導に対応し、保護者や地域にその成果を発信してきたことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な活動を充実させ、自己肯定感を高めるようにするとともに児童理解の時間である「アセスメントタイム」を活用し、課題の共有や支援体制の検討を行い、そこの内容を全教員で共有し課題解決を行う。また、特別支援教育研修を充実させ、教員の生活指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組や支援体制が充実していることがわかった。今後も児童の実態に合わせて、生活指導に取り組んで行ってほしい。
<p><防災教育・安全指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて 	<p>◎四者ともに肯定的な評価が85%以上であり、防災教育・安全指導への評価はかなり良好である。今年度は、地域防災訓練を復活させ、地域と共に防災教育・安全教育を行うことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害や事件に対応できるように避難訓練を計画する。また、保護者を交え、関係機関と連携した地域防災訓練も計画・実施する。 ・定期的な安全点検を実施し、必要に応じ、関係機関と連携し課題の対処を図り、より危機意識の高い学校環境に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年起きている大震災の経験を活かしながら、自分事として防災教育に取り組むことも必要だと考える。

<p><幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について 	<p>◎教職員は肯定的な評価が95%以上であり、幼・保・小・中連携への評価は極めて良好である。目黒中央中校区の小中連携子ども育成プランの計画に沿って、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議や運動会のお手伝い、鷹番小学校での職場体験等の実施、さらに、幼稚園・保育園との交流なども実施できたことが要因ととらえられる。しかし、保護者の肯定的評価は60%あたりで幼・保・小・中連携への評価については課題となる。情報発信に努めているものの当該学年以外の保護者に理解してもらうまでには至っていないことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の達成感や満足感が得られるよう幼保小交流活動を充実させる。 ・目黒中央中校区の学校と連携をしながら小中連携の活動を充実させる。 ・幼保小の交流活動や小・中連携の活動の様子をさらに保護者・地域にわかりやすい形で発信しながら工夫を重ねていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流を中心に行っている当該学年の活動を全校にわかりやすく伝える工夫があるとよい。 ・地域行事などにも、中学生、小学生、幼稚園保育園の子どもたちを多く参加させ、交流を促進していきたい。
<p>VII 情報の発信、家庭・地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA活動の充実などについて 	<p>◎三者ともに肯定的な評価が85%以上であり、情報の発信、家庭・地域との連携への評価はかなり良好である。学校行事に関するお知らせをC4th Home & School 配信することに力を入れてきたことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・C4th Home & School 等を活用して学校の学習活動や学校生活について日常的に情報発信をしていく。 ・教職員、PTAが連携し、教育活動の充実と適切な情報発信に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を生かして、情報発信を充実させた点が大きく評価できる。来年度も継続して行ってほしい。

<p>Ⅷ 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について 	<p>◎教職員は肯定的な評価が90%以上であり、教員の人材育成への評価はかなり良好である。「スキルアップタイム」を始め、学年内OJT、校務分掌OJTなど様々なOJTを工夫し計画を立案し、実行したことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40分授業午前5時間制で生み出した時間を有効活用して、指導方法の改善に向けた研修「スキルアップタイム」や教材研究を行う時間「コンテンツタイム」を充実させる。また、職員室等が自然とお互いの学びの場となるよう環境づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鷹番小学校の教員は若手教員が多い中、年々若い先生方が中心となって活躍している姿を見ることができ、人材育成がうまくいっていると感じる。今後も人材育成の取組を継続して行ってほしい。
<p>Ⅸ 教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について 	<p>◎教職員は肯定的な評価が95%以上であり、教員の働き方改革への評価は極めて良好である。ICT機器の活用や、校務分掌の見直しなどを積極的に行い、業務改善、効率化を図ったこと、また、会議の見直しや運営の改善をしてきたことが要因ととらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都や区の施策を活用し、一人あたりの持ち時数をできるだけ少なくなるよう工夫する。 ・ 校務用パソコンや学習用情報端末を活用し、校務の効率化、ペーパーレス化を図る。 ・ 職場全員で効率的に業務を遂行できるような環境作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評議員として鷹番小学校の教職員を見ると、とても楽しそうに働いているように感じる。今後も働き方改革を充実させて行ってほしい。